

山梨大学

「山梨大学・中国医科大学交流事業－病理学教育及び臨床病理学」



山梨大学・中国医科大学生集合写真

<海外の大学> 中国医科大学

<所在地> 中国

<セミナーの期間> 2009年8月4日～8月13日

<参加者数>

山梨大学: 教員6名 学生34名

中国医科大学: 教員2名 学生8名

■セミナーの概況

本セミナーは、山梨大学と中国医科大学の交流事業として山梨大学において実施され、引率の教員を含む中国医科大学の日本語クラスの4年生、計10名が主に日本の病理学を学ぶために8月4日から8月13日まで日本に滞在しました。

日本語に堪能な中国医科大学の学生は山梨大学医学部において日本人の学生と同じ水準の講義を受け、病理学に関する知識を深めると共に、病院の訪問見学では日本の病院病理医療制度や病院の運営方法を学びました。日本人学生との交流では、医療制度の違いを互いに発表し、お互いの学生生活を紹介しあいました。



<左> 講義の様子



<右> 学生討議の様子

そのほか、スポーツで汗を流しての交流を行い、温泉体験では露天風呂に入り、あいにく山頂付近は雲で見ることができませんでしたが富士山の五合目にバスで登り、一般家庭でのホームステイを通しては、日本の日常生活を体験しました。

日本での10日間の滞在により、中国の学生達は、病理学の知識を一層深めると共に、日本との医療制度の違いはもちろんのこと、互いの学生生活の相違や共通点を理解し、日本文化や「普段着の日本」を知ることができました。これらの体験が、中国の学生達には言うに及ばず、交流した日本人学生達の視野をも広げることができたことは間違いありません。なお、この交流事業については、地元の新聞にも取り上げられ、広く山梨県内に紹介されました。



<左>病院見学の様子



<右>富士山登山体験

■参加学生からのコメント



山梨大学4年生、青木正さん

「今回のセミナーに参加した中国医科大学の皆さんは、日本の大学や生活を体験でき、日本の医学生と交流できたことに大変満足している様子でした。私も彼らから刺激をもらい、日々の学習や海外留学に対する意欲がより強くなりました。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。」

中国医科大学4年生、南海天さん

「お金さえあれば中国でも豊かな生活ができる。でももっと大切なのは「環境に優しく、人間に優しく」というような日本人の意識です。人は一人の人間として存在すると同時に自分の義務と責任を享受している。これからがんばって、将来学術的な分野で日本の医学と交流したいです。」

